

同時発表：経済産業省

News Release

令和2年5月29日
NITE（ナイト）独立
行政法人製品評価技術基盤機構法人
番号 9011005001123

新型コロナウイルスに有効な界面活性剤を公表します (第2弾)

～物品への消毒方法の選択肢がさらに広がります～

NITE（ナイト）[独立行政法人 製品評価技術基盤機構 理事長：辰巳 敬] は、第4回「新型コロナウイルスに対する代替消毒方法の有効性評価に関する検討委員会」を5月28日に開催し、新型コロナウイルスを用いた候補物資の有効性評価のための検証試験の結果について二回目の検討を行いました。

その結果、前回の委員会で新型コロナウイルスに対して有効であると判断された住宅・家具用洗剤等に用いられる5種の界面活性剤に加え、新たに2種の界面活性剤が新型コロナウイルスに対して有効であると判断されました。

1. 独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）は、経済産業省の要請を受け、新型コロナウイルスの感染拡大に対応し、家庭や職場におけるアルコール以外の消毒方法の選択肢を増やすため、消毒方法の有効性評価を進めています。（4月15日ニュースリリース）。このため、5月1日から国立感染症研究所、学校法人北里研究所とそれぞれ新型コロナウイルスを用いた共同検証試験に着手しています。
2. 昨日5月28日、第4回検討委員会を開催し、新型コロナウイルスを用いた候補物資の検証試験のうち、現在までに得られた結果について検討を行いました。
その結果、前回の委員会（5月21日開催）で有望であると判断された塩化ベンゼトニウム（0.05%以上）及び塩化ジアルキルジメチルアンモニウム（0.01%以上）について、新型コロナウイルスに対して有効と判断されました。
これにより、有効と判断された界面活性剤は次の7種となりました。
 - 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム（0.1%以上）
 - アルキルグリコシド（0.1%以上）
 - アルキルアミノオキシド（0.05%以上）
 - **塩化ベンザルコニウム（0.05%以上）**
 - **塩化ベンゼトニウム（0.05%以上）【5月28日追加】**
 - **塩化ジアルキルジメチルアンモニウム（0.01%以上）【5月28日追加】**
 - ポリオキシエチレンアルキルエーテル（0.2%以上）

3. なお、「次亜塩素酸水」については、今回の委員会では判断に至らず、引き続き検証試験を実施することとされました。

4. 今回の検証により、新型コロナウイルス対策のための家庭や職場における消毒方法の選択肢がさらに広がることが期待できます。

これらの界面活性剤による身近な物の消毒に関するポスターを用意しましたので、ご活用ください。

また、ホームページで公表している「効果が確認された界面活性を含む洗剤等のリスト」について、今回の追加を踏まえた情報に更新しております。

5. 本発表に関連する資料

NITE の HP から公表

<https://www.nite.go.jp/information/osirase20200529.html>

- ・ 第4回検討委員会資料（検証試験結果、次亜塩素酸水に関するファクトシート他）
- ・ ポスター「ご家庭にある洗剤を使って身近な物の消毒をしましょう」（2種の界面活性剤を追加したもの）

（参考）検討委員会について

「新型コロナウイルスに対する代替消毒方法の有効性評価に関する検討委員会」

委員長： 松本哲哉 国際医療福祉大教授（日本環境感染学会副理事長）

委員会の構成： 国立研究所 / 大学の学識経験者、関係団体他

オブザーバー： 厚生労働省、経済産業省他

お問合せ先 独立行政法人製品評価技術基盤機構 理事

高見 牧人

消毒手法タスクフォース 加藤（バイオテクノロジーセンター次長）

（本リリースに関するお問い合わせ） 広報担当 吉田、田邊 電話：03-3481-6685

メールアドレス：dmtf-koho@nite.go.jp

独立行政法人製品評価技術基盤機構・経済産業省
【発表資料】解説

新型コロナウイルスを用いた検証試験における対象物質
【第4級アンモニウム塩】

第4級アンモニウム塩として、3種のサンプルを検証試験

4月30日 時点

- ① 【第4級アンモニウム塩：塩化ベンザルコニウム】

5月29日 時点 追加サンプル

- ② 【第4級アンモニウム塩：塩化ベンゼトニウム】
③ 【第4級アンモニウム塩：塩化ジアルキルジメチルアンモニウム】

サンプル番号	界面活性剤の種類名称（用語）	界面活性剤の区分*
① 第4級アンモニウム塩 界面活性剤	塩化ベンザルコニウム※1	陽イオン系界面活性剤
② 第4級アンモニウム塩 界面活性剤	塩化ベンゼトニウム	
③ 第4級アンモニウム塩 界面活性剤	塩化ジアルキルジメチルアンモニウム	

※1 インフルエンザウイルスに対して、感染価の低下が3桁未満であったサンプルであり、新型コロナウイルスに対する効果を検証する試験対象に含める

* 第4級アンモニウム塩は、陽イオン系界面活性剤の区分

新型コロナウイルスを用いた有効性評価にかかる検証試験計画①

<https://www.nite.go.jp/data/000108455.pdf>

検証試験の結果に続く



同時発表：経済産業省

News Release

令和2年5月29日
N I T E (ナイト) 独立
行政法人製品評価技術基盤機構法人
番号 9011005001123

新型コロナウイルスに有効な界面活性剤を公表します (第2弾)

～物品への消毒方法の選択肢がさらに広がります～

2. 昨日5月28日、第4回検討委員会を開催し、新型コロナウイルスを用いた候補物資の検証試験のうち、現在までに得られた結果について検討を行いました。
- その結果、前回の委員会(5月21日開催)で有望であると判断された塩化ベンゼトニウム(0.05%以上)及び塩化ジアルキルジメチルアンモニウム(0.01%以上)について、**新型コロナウイルスに対して有効と判断されました。**
- これにより、有効と判断された界面活性剤は次の7種となりました。
- 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム(0.1%以上)
 - アルキルグリコシド(0.1%以上)
 - アルキルアミンオキシド(0.05%以上)
 - **①塩化ベンザルコニウム(0.05%以上)**
 - **②塩化ベンゼトニウム(0.05%以上)【5月28日追加】**
 - **③塩化ジアルキルジメチルアンモニウム(0.01%以上)【5月28日追加】**
 - ポリオキシエチレンアルキルエーテル(0.2%以上)

新型コロナウイルスに有効な界面活性剤を 公表します (第2弾)

令和2年5月29日 N I T E (ナイト) 独立行政法人製品評価技術基盤機構



検証の結果

新型コロナウイルスに対し、
第4級アンモニウム塩が有効と判断された